

# 第12回U-15全国KWB野球秋季大会

(男子の部・女子の部)

## 【大会要項】

平成29年10月1日

### 1 目的

「明日の日本を担う青少年を育てる」という観点から、野球競技を通じて青少年の健全な育成を目指すとともに、中学生の身体の成長段階を考慮し、高等学校の硬式野球へスムーズに移行できるよう計らう。

2 主催 公益財団法人日本野球連盟 日本KWB野球連盟

3 主管 U-15全国KWB野球秋季大会実行委員会 千葉県KWB野球連盟

### 4 後援

スポーツ庁 千葉県・千葉県教育委員会 成田市・成田市教育委員会 印西市・印西市教育委員会  
富里市・富里市教育委員会 千葉ロッテマリーンズ 千葉県野球協会 千葉県野球連盟 千葉県中  
学生野球連盟 **NHK** 読売新聞社 全国新聞社事業協議会 共同通信社 公益財団法人全日本  
軟式野球連盟 一般社団法人全日本女子野球連盟

5 協力 成田高等学校

6 特別協賛 シダックス株式会社

### 7 協賛

ナガセケンコー株式会社 オリックス自動車株式会社 コカ・コーライーストジャパン株式会社  
株式会社共同写真企画

### 8 日程

■男子の部 平成29年10月7日(土) ～ 10月9日(月・祝) 予備日10月10日(火)

■女子の部 平成29年10月7日(土) ～ 10月8日(日) 予備日10月9日(月・祝)

#### ■共通

監督会議 10月6日(金) 17:00 (監督が出席できない場合は代理出席を認める)

開会式 " 18:00 (正規のユニフォームで主将1名が参加する)

懇親会 " 18:30 (来賓、チーム監督・コーチ、役員等が参加する)

※選手の参加はご遠慮ください

### 9 会場

【監督会議・開会式】(大会本部)

マロウドインターナショナルホテル成田

〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1 TEL 0476-30-2222

【競技】(11会場)

ナスパ・スタジアム、山田中央運動広場野球場、栗源運動広場野球場、富里中央公園野球場

芝山公園野球場、成田高校グラウンド、中台運動公園野球場

松山下運動公園野球場、本埜スポーツプラザ野球場、下総フレンドリーパーク野球場、

北羽鳥多目的広場野球場

## 10 出場資格

- 男子の部 日本国内の15歳以下の中学生で構成されたチーム
- 女子の部 日本国内の15歳以下の女子中学生で構成されたチーム

## 11 出場チーム数

- 男子の部 31チーム [各府県から1代表、北海道(南北)及び東京都(東西)は2代表]
- 女子の部 11チーム

## 12 チーム構成(ベンチ入りできる者)

### ■男子の部

団長：1名 監督：1名 コーチ：2名以内 スコアラー：1名 [注] 役職の兼任を認める  
選手：20名以内

### ■女子の部

団長：1名 監督：1名 コーチ：2名以内 スコアラー：1名 [注] 役職の兼任を認める  
選手：参加登録選手のうち1試合ごとに20名以内を出場選手(ベンチ入り選手)として届け出る。

[注] 23名を参加登録した場合、試合当日に3名を登録抹消し、試合前のメンバー交換時に大会本部に届け出る。当日に複数の試合を消化する場合は、試合前に都度、届け出る。なお、登録抹消した選手をベンチ入りさせたい場合は、メンバー交換用紙にそのすべての選手氏名と背番号を記載し、その旨を大会本部に報告すること。これは女子の部にのみ適用される特例とする。

## 13 競技規則

- (1) 2017年公認野球規則および大会特別規定による。
- (2) 大会特別規定は別に定める(熟読の上、遵守すること)。
- (3) 使用球は連盟公認球(KWBボール)とする。

## 14 競技方法

### ■男子の部

トーナメント方式(試合時間100分・7回戦)とする。詳細は大会特別規定に定める。

### ■女子の部

出場チームを4ブロックに分ける。

#### 【大会一日目】

総当たりリーグ戦とし、得点差によるコールドゲームは適用せず、延長戦も行わない。

<リーグ戦の組み合わせ>

[第一試合] 9:00 初番-中番 [第二試合] 11:00 中番-終番 [第三試合] 13:30 初番-終番

<順位決定に優先される条件>

- ① 勝ち点の合計(一試合につき 勝=2点 分=1点 負=0点)
- ② 失点数
- ③ 得点数
- ④ 抽選

それぞれのブロックの1位チームが準決勝に進出する。

#### 【大会二日目】

準決勝、決勝をトーナメント方式で行う(男子の部と同様)。

## 15 大会参加費

1チームあたり30,000円、参加登録選手1人あたり2,000円を、監督会議前のチーム受付時に大会本部に納入する。

## 16 参加申込

日本KWB野球連盟ホームページより書類をダウンロードし、**9月15日(金)までに**下記メールアドレスに送信する。期日を過ぎる場合は必ず事前にその旨を連絡すること。

※提出した出場選手名簿は、大会プログラムの作成及び本大会の事務手続きに使用する。

※大会期間中の負傷・疾病については応急処置を施し、大会本部が加入するレクリエーション保険で対応する。それ以外の責任は負わないので参加者は各自保険に加入し、保険証を持参する。

### 【参加申込先】

U-15全国KWB野球秋季大会実行委員会

事務局 吉田 昌弘

MAIL [yoshidaball@yahoo.co.jp](mailto:yoshidaball@yahoo.co.jp)

携 帯 090-6103-5200

日本KWB野球連盟HP <http://www.k-ball.jp/>

☆問い合わせについては、なるべくメールにてお願いします。

## 17 宿泊・弁当

※別紙宿泊要項を確認の上、申込用紙にて下記に申し込む。

### 【第12回 U-15 全国KWB野球秋季大会 指定旅行会社】

株式会社 千葉スカイツーリスト (担当 大竹・吉田・小林)

〒289-1142 千葉県八街市大関 193-35

TEL 043-444-5250 FAX 043-444-5310

MAIL [chibasky@gaea.ocn.ne.jp](mailto:chibasky@gaea.ocn.ne.jp)

営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~14:00 日祝日 休業

以上

## 【表彰】

### 1 優勝チーム

賞状・千葉県知事杯・優勝盾・優勝記念メダルを授与する。

- ① 千葉県知事杯 持ち回り/翌年に代杯授与
- ② 優勝盾 (日本KWB野球連盟)
- ③ 賞状 (千葉県知事、NHK、読売新聞社、日本野球連盟、日本KWB野球連盟)
- ④ メダル (優勝記念の金メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの25名以内)

### 2 準優勝チーム

賞状・準優勝盾・準優勝記念メダルを授与する。

- ① 準優勝盾 (日本KWB野球連盟)
- ② 賞状 (NHK、読売新聞社、日本野球連盟、日本KWB野球連盟)
- ③ メダル (準優勝記念の銀メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの25名以内)

### 3 3位チーム (2チーム)

日本KWB野球連盟から賞状を授与する。

### 4 山本英一郎賞(最優秀選手賞)

大会で最も活躍した選手1名に授与する。

【山本英一郎賞 歴代受賞者】(名前右のカッコ内は大会参加当時の登録ポジションと、その後の球歴)

第1回(2006年)	麻下 翔太郎	(内野手・北海道K-B a l l クラブー札幌山の手高)
第2回(2007年)	佐藤 亮	(内野手・宮崎K-C L U Bー宮崎工業高(甲))
第3回(2008年)	三好 匠	(投手・福岡選抜ー九州国際大付高(甲)ー楽天イーグルス)
第4回(2009年)	大越 和樹	(捕手・千葉マリナーズー千葉英和高校ー中央学院大)
第5回(2010年)	永井 恭平	(投手・オール茨城ー水城高(甲)ー国士舘大)
第6回(2011年)	浦岡 真也	(捕手・MA J O R H Y O G Oー東洋大姫路高ー東洋大)
第7回(2012年)	江口 奨理	(投手・埼玉スーパースターズー浦和学院高(甲)ー立教大)
第8回(2013年)	陣 翔大	(投手・KB釧路選抜ー旭川実業高ー専修大)
第9回(2014年)	伊東 克隼	(外野手・千葉ファイターズー千葉商科大附属高)
第10回(2015年)	大澤 龍生	(外野手・埼玉スーパースターズー浦和学院高)
第11回(2016年)	木村 宙夢	(投手・KWB釧路選抜ー釧路明輝高)

女子の部

第6回(2011年)	船越 千紘	(捕手・千葉マリナーズガールズー花咲徳栄高ー平成国際大)
第7回(2012年)	斉藤友梨乃	(投手・千葉マリナーズー花咲徳栄高ー平成国際大)
第8回(2013年)	松原 由芽	(投手・東京選抜ー埼玉栄高ー日本大)
第9回(2014年)	岩淵 風香	(投手・千葉マリナーズー蒲田女子高)
第10回(2015年)	村越 美咲	(投手・千葉マリンスターズヤングー神戸広陵高)
第11回(2016年)	亀山 響	(内野手・埼玉スーパースターズFー埼玉栄高)

### 【山本英一郎賞とは】



故 山本英一郎氏

山本英一郎…全日本アマチュア野球連盟会長、日本野球連盟会長などアマ球界の要職を歴任。野球の五輪正式採用など国際化に尽力し、1997年、野球殿堂入り。また、KWBボールを志太 勤・日本KWB野球連盟会長とともに開発し、その普及や発展に多大な貢献をしました。2006年5月没。享年87歳。  
山本英一郎賞は、氏の功績を讃え、第6回(2006年)大会より最高殊勲選手に贈呈される賞として制定されました。

写真提供：共同通信社